

【総選挙】ハンドマイク宣伝例【野党と市民の共闘で安倍政権を倒そう】

2017年9月19日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

安倍首相が、28日から予定される臨時国会の冒頭で、衆議院を解散させて総選挙を実施する意向を固めたと報道されました。安倍暴走政治が、すみやかに国民の審判を仰ぐことは当然です。しかし今回の解散は、「加計・森友問題」「日報隠し問題」などの数々の大疑惑を隠し通すことを狙ったものであり、絶対に認められません。野党4党はすでに、3か月も前から憲法53条に基づいて臨時国会の召集を要求しています。冒頭で解散するならば、この要求をほうむり去ることになります。これこそ、究極の党利党略・権力の私物化であり、あからさまな憲法違反の暴挙です。臨時国会で関係者の証人喚問を行い、疑惑を徹底究明した上で国民の審判を仰ぐべきではないでしょうか。

みなさん

今回の解散への動きは、安倍政権による政治の私物化・憲法破壊の政治に対して、国民の批判が大きく高まった結果に他なりません。東京都議選などで自民党が惨敗するなど、国民の世論と運動によって、安倍政権は追い込まれています。日本共産党は7月より、「解散総選挙で審判を仰げ」と要求してまいりました。今回の総選挙は、その安倍政権を退場に追い込む、歴史的チャンスとなる選挙です。野党と市民が共闘して、必ずや自民・公明とその補完勢力を、少数に追い込もうではありませんか。

みなさん

安倍政権を倒すには、野党と市民が共闘するしかありません。ちょうど2年前、安保法制Ⅱ戦争法に反対して、空前の規模で市民が立ち上がりました。あの時を原点に2年間、野党と市民の共闘を進める運動が、日本各地で次々と生まれ、今や共闘は「国民共有の財産」と言えるほどに、大きく成長しました。今こそこの共闘の力を十分に発揮して、安倍政権を迎え撃とうではありませんか。みなさん、どうか力を合わせてまいりましょう。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げ、この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。